

JALD 一般社団法人 日本LD学会

会 報 第69号

Japan Academy of Learning Disabilities

[事務局]
 〒320-0043
 宇都宮市桜 3-1-6 吉田ビル 2F
 TEL.028-666-0533
<http://www.soc.nii.ac.jp/jald/>

学会法人化にあたって

一般社団法人 日本 LD 学会

理事長 上 野 一 彦



2009年4月1日、日本LD学会は、一般社団法人日本LD学会として新たな出発をしました。

思い起こせば、1992年11月、300人程度の研究者・教師・保護者らがLDの社会的認知と支援教育を求めて、日本LD学会(発足当時はLD研究会)を立ち上げました。以来16年半の歳月が流れました。

この間、2001年3月から特別支援教育士養成(当初「LD教育士」と称しましたが、支援対象がLDだけでなくADHD等にも拡大している実状に合わせ、2004年度より新しい資格名とすると共に、組織も学会から独立)を開始するなど、まさに特別支援教育進展の大きな一翼を担ってきたと自負いたします。

会員も6500人を優に超え、ここに法人格を得て、社会的責務をしっかりと意識する学会としてさらなる前進をしてまいりたいと思います。

特別支援教育士資格認定協会も、同時に一般財

団法人として、これも新たなスタートを切りました。両法人はお互いにそれぞれ目的を遂行しながら、よい連携を保っていくつもりです。

今世紀に入って、特殊教育から特別支援教育への大きな転換期を迎えています。そうした動向の中、LDはいわゆる「発達障害」の代表として、その傘としての役割を果たしてきました。LDは、知的な遅れのない「発達障害」であり、いわば包括的な存在としての側面も持ちます。

臨床的には、これら「発達障害」はスペクトラム(連続体)として存在するといってもよいのではないのでしょうか。LDを「学び方のちがい(learning differences)」として理解することも大切です。

法人化にあたって、こうした歴史の一つ一つを嘯みしめながら、皆さんと共に、あらためて手を携えて歩んでいきたいと思っています。